

# 石川県作業療法士会キャリアラダー(臨床実践能力)

Level	I 新人レベル	II 自立レベル	III 所属チーム リーダーレベル	IV 多職種チーム リーダーレベル	V 社会貢献レベル	
参考経験年数	1～2年目	2～4年目	4～6年目	6～10年目	10年目～	
到達目標	指導のもとに臨床実践ができる	自立して臨床実践ができる	後輩スタッフのモデルとなり、臨床実践の指導ができる	多職種チームのマネジメントができる 分野を限定しない広範囲な知識・技術・経験を有している	特定の分野において高度な知識・技術・経験を有しており、地域にその能力を活用できる	
臨床実践能力	情報収集	対象者の社会背景、ニーズ、治療方針等を理解している	予後予測に必要な情報を集めることができる	問題点や方針について把握し理解している	多職種と適宜連携し、互いの役割や進捗状況を把握している	地域の課題や資源を適宜把握し理解している
	評価	指導のもと、適切な検査項目を実施できる	単独で適切な検査項目を選択し、手技ができる	適切な検査項目や手技を後輩に指導できる	環境面も含めた多角的な評価ができる	地域特性における課題を捉えることができる
	目標設定	指導された内容を理解し、期間が明確で実現可能な目標を設定し説明できる	実現可能な個別性のある目標を設定し説明できる	健康管理面も意識し根拠に基づいた実現可能な目標設定が行え、後輩へ助言できる	多職種の方針を含めた総合的な目標設定の支援ができる	地域の場合（地域ケア会議等）に出向いて、目標設定の支援ができる
	プログラム立案	指導のもと、訓練プログラムの目的・今後の展望を説明できる	単独で適宜訓練の方法・修正・追加ができる	効果判定を踏まえ、訓練方法、目標の修正・追加ができ、後輩にも助言できる	多職種の方針を含めた多種多様な総合的なプログラムの提案ができる	地域の場合（地域ケア会議等）に出向いて、具体的な解決策を提案できる
	訓練・リスク管理	マニュアルやリハビリテーション中止基準を理解しながら訓練できる	経過や合併症、投薬の情報をもとに単独で安全性及び妥当性のある訓練ができる	重篤化回避のモニタリング、合併症予防などハイリスク対象者の対応ができ、安全性及び妥当性のある訓練を後輩に指導できる	費用対効果を意識して訓練ができる	地域の場合（介護予防教室等）に出向いて、指導ができる
		指導のもと、自分の行った訓練を振り返り、効果判定できる	治療目標に整合した適切な内容・時間の訓練が単独でできる			
記録・説明	指導のもと、担当者同士書類を元に対象者にリハビリテーション内容や必要性を説明できる	単独で書類を元に対象者にリハビリテーション内容や必要性を説明できる	アウトカムを数量化して、記録や報告ができる	多職種・対象者や家族からの質問に対して適切に答えることができる	地域の場合で的確に説明できる	